

平成24年度
実施事業

事務事業名	児童生徒遠距離通学費補助金
-------	---------------

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり
小分類	3	教育環境の充実
主要な施策	1	①児童生徒の安全確保
事務事業番号	001	事業開始年度 昭和 51 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	学校教育グループ
-----	-----	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	バス通学児童生徒に対して、通学に要する費用の一部を補助することにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	バス通学児童・生徒に対して、通学に要する費用の一部を補助した。 【事業実績】 ・補助の対象 正規の交通機関があり、これを利用して通学する地域から通学する児童及び生徒であって、3か月定期券代金の1か月所要額が小学生の場合2,700円、中学生の場合5,200円以上となる地域から通学する児童生徒等を対象とする。 ・補助実績 小学校 2校 14名 中学校 3校 57名
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	児童生徒の通学の安全性を確保し、保護者の経済的負担を軽減するために、今後も継続して事業を実施する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市遠距離通学児童及び生徒通学費補助金交付要綱

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	1,731	2,079	2,468	2,468	2,468
事業費 合計			1,731	2,079	2,468	2,468	2,468

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 助成人数	人	目標値	120	120	120	120	120
			実績値	78	81			
	②	目標値						
		実績値						

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
バス通学児童生徒に対して、通学に要する費用の一部を補助することにより、保護者の経済的負担の軽減を図る。	今後も、児童生徒の通学の安全性を確保し、保護者の経済的負担を軽減するために、今後も継続して事業を実施していく。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input checked="" type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 児童生徒の通学の安全に配慮する必要があるため、市が本事業を行うことは妥当である。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input checked="" type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 バス通学児童生徒に対して、通学に要する費用の一部を補助することにより、保護者の経済的負担が軽減されるため、必要性の高い事業である。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input checked="" type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 本事業の経費は、補助対象者への補助金であり、経費削減は本事業の実施を困難にする。
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input checked="" type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 本事業により、保護者の経済的負担は軽減されている。

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠) 本事業は、保護者の負担軽減を図ることにより、交通機関による通学を円滑にし、安全性を確保するためのものであり。継続して事業を行う必要がある。
-----------	---

②行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
-----------	----

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

維持	備考
-----------	----

〔評価区分〕

- ◆拡大 (事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持 (事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善 (当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止 (暫定的に休止する事業)
- ◆廃止 (事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了 (事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)